

会津・漆の芸術祭

あいづまちなかアートプロジェクト

会津若松市教育委員会文化課 主査 佐藤崇

◆はじめに

- 2010年～2012年（3年間）
会期：10月上旬～11月中旬
- 福島県立博物館が中心となり、会津若松市・喜多方市等を舞台に、会津の文化資源である「漆」をテーマとした「会津・漆の芸術祭」を開催



◆あいづまちなかアートプロジェクトとは

- 2013年～現在まで
会期：10月上旬～11月上旬
- 会津若松市が事業を引き継ぐ形で「あいづまちなかアートプロジェクト」を開催
- このプロジェクトは前述の「会津・漆の芸術祭」と福島・会津が誇るアーティストの優れた芸術作品等を展示する「まちなかピナコテカ」を二本柱として実施（※ピナコテカはイタリア語で絵画館を意味する）

◆会津・漆の芸術祭について

- 漆文化の継承をはじめとした会津地域の産業の活性化や交流人口の拡大による地域活性化、ウルシ林の継続的な保育整備につなげることを目的として事業を展開
- 地域の方々、県内外の方々に、会津の漆文化を知ってもらおう
 - ・ 伝統的工芸品である会津漆器への関心
 - ・ うるし林の植樹や漆そのものへの興味をかきたてる
 - ・ 漆のアート作品を通して、漆の新しい可能性を知ってもらおう

◆会津・漆の芸術祭について

- 漆文化の継承をはじめとした会津地域の産業の活性化や交流人口の拡大による地域活性化、ウルシ林の継続的な保育整備につなげることを目的として事業を展開
- 「漆」を活用した芸術作品を、まちなかにある蔵などの歴史的建造物や店舗、ギャラリー、公共施設等に展示
- 関係機関や地域と連携して、漆に関する様々なイベントやワークショップ等を実施

◆漆を活用した芸術作品 全国漆芸大学の教員の作品展示



◆漆を活用した芸術作品
全国漆芸大学の教員の作品展示



◆漆を活用した芸術作品
全国漆芸大学の学生の作品展示



◆漆を活用した芸術作品
全国漆芸大学の学生の作品展示



◆漆を活用した芸術作品
現代漆芸作家の作品展示



◆漆を活用した芸術作品
現代漆芸作家の作品展示



◆漆を活用した芸術作品
現代漆芸作家の作品展示



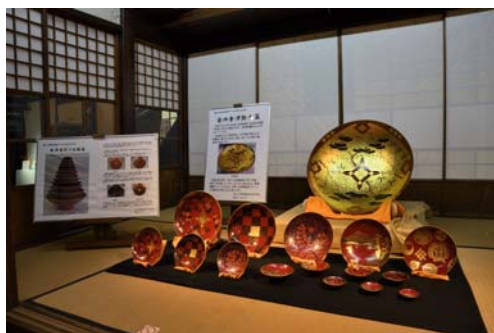
◆漆を活用した芸術作品
会津漆器の展示



◆漆を活用した芸術作品
会津漆器の展示



◆漆を活用した芸術作品
会津漆器の展示



◆漆を活用した芸術作品
さわって遊べる展示会場



◆各種ワークショップ
うるし林見学会



うるし林見学会



うるし林見学会



うるしの学校



うるしの学校



うるしの学校



真夏の漆塾～現地研修プログラム



毎年8月に全国の漆芸を学ぶ大学の学生を中心に、会津の漆文化を学んでもらう現地研修プログラムを開催

会津漆器職人の工房巡り等とともに、うるし林の現状も知ってもらっている



真夏の漆塾～現地研修プログラム



研修後半は、会津漆器の職人から直接指導してもらい、漆芸の作品制作を行う

できあがった作品は10月の会期中に会場に展示している



全国漆芸大学によるワークショップ



全国漆芸大学によるワークショップ



全国漆芸大学によるワークショップ



全国漆芸大学によるワークショップ



◆漆に関する講演会



◆漆に関する講演会



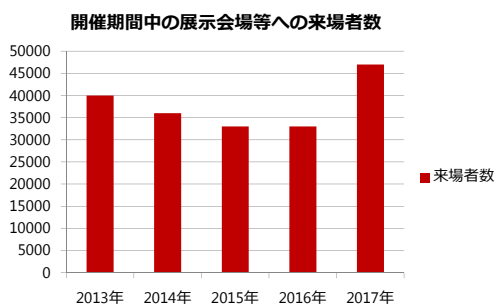
◆漆に関する意見交換会



◆漆に関する意見交換会



来場者数の推移（2013年～2017年）



来場者からの声 ～アンケート調査より

- 昔から使用していた漆が新しいものに見え、これらが他県の人々にも認められればと思います。
- 普段触れることができない桐や漆のおもちゃで遊ぶことができ良かったです。
- 漆が意外性を持った作品に使われていて、驚いたし、おもしろい！
- ぜいたくを楽しめました。漆はきれいですね。
- 若い方の発想が素晴らしい。従来の観念にとらわれずに自由な作品でびっくりした。
- 地元に住んでいながら、あらためて伝統工芸・会津塗を発展させた作品に触れられて感動しました。

漆は伝統文化であり、総合産業
～農林課、商工課、観光課との連携～



さいごに

- 2020年 東京オリンピック
- 日本・福島・会津をPRする絶好の機会
- 国内外に福島・会津の漆文化を発信していきたい

ご静聴ありがとうございました。